

2022年度第34回全道U-15フットサル選手権大会 釧路地区予選 開催要項

- 1 主 旨 日本フットサル界の将来を担うジュニアユース年代のフットサル技術の向上と健全な心身の育成を図ると共に、全道U-15フットサル選手権大会道東ブロック予選の釧路地区代表チームを決定することを目的とし、本大会を実施する。
- 2 名 称 2022年度第34回全道U-15フットサル選手権大会 釧路地区予選
- 3 主 催 釧路地区サッカー協会
- 4 共 催 釧路地区中体連
- 5 主 管 釧路地区サッカー協会第3種委員会
- 6 期 日 2022年11月5日(土)、6日(日)
- 7 会 場 MOO多目的アリーナ、釧路市立青陵中学校体育館、釧路市立景雲中学校体育館
- 8 参加資格 (1) フットサルチームの場合
 - ① (公財)日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。)に「フットサル3種」、または「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は、「フットサル4種」年代のみとし、「フットサル3種」及びそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する2007年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - ④ 主体となるチーム以外の選手が8名未満の場合、複数チームによる「合同チーム」の大会参加を、以下の条件により認める。
 - (ア) 主体となるチーム及びその選手は、それぞれ上記①、②を満たしていること。
 - (イ) 合同するチームの選手は、2007年4月2日以降に生まれた選手で、JFAに登録されていること。なお、選手が所属するチームの種別・種別区分は問わない。
 - (ウ) 極端な勝利目的の為に合同チームでないこと。
 - (エ) 合同チームとしての参加を北海道サッカー協会フットサル委員長が別途了承すること。
 - (オ) 大会参加申込の手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、主体となるチームが行う。
- (2) サッカーチームの場合
 - ① JFAに「3種」、「4種」、または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「3種」、「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は、「4種」年代のみとし、「3種」及びそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する2007年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

- ④ 主体となるチーム以外の選手が8名未満の場合、複数チームによる「合同チーム」の大会参加を、以下の条件により認める。
- (ア) 主体となるチーム及びその選手は、それぞれ上記①、②を満たしていること。
 - (イ) 合同するチームの選手は、2007年4月2日以降に生まれた選手であること。JFAに登録されていること。なお、選手が所属するチームの種別・種別区分は問わない。
 - (ウ) 極端な勝利目的の為の合同チームでないこと。
 - (エ) 合同チームとしての参加を北海道サッカー協会フットサル委員長が別途了承すること。
 - (オ) 大会参加申込の手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、主体となるチームが行う。
- (3) 中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ、JFAの女子加盟チーム登録選手を、移籍手続を行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。
- (4) 選手は、本大会において複数のチームで参加できない。
- (5) 下記(公財)北海道サッカー協会フットサル大会登録料を釧路地区サッカー協会において納入完了していること。
- ① フットサルチームの場合：登録料2,000円
 - ② サッカーチームの場合：登録料4,000円

9 参加チーム 監督会議で決定する。

- 10 大会形式
- (1) 1次ラウンドのブロック数及びブロックチーム数は監督会議で決定する。
 - (2) 決勝トーナメントはノックアウト方式とし、その方法は監督会議で決定する。
 - (3) 1次ラウンドの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ ブロック内での総得失点差
 - ⑤ ブロック内での総得点数
 - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回3ポイント
 - (ウ) 退場1回3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場1回4ポイント
 - ⑦ 抽選
 - (4) ワイルドカードの順位決定方法は、各ブロック3位チームのうち勝点の多いチームを上位とし、順位を決定する。ブロックチーム数に違いがある場合、ブロックチーム数の多いチームにおいては、そのブロックの最下位チームとの対戦結果を対象外として集計する。ただし、勝点合計が同じ場合は、上記(3)の順序により決定する。
 - (5) 3位決定戦を実施する。

11 競技会規則 大会実施年度の、(公財)日本サッカー協会「フットサル競技規則」による。

- 12 競技会規定 以下の項目については、本大会で規定する。
- (1) ピッチサイズは、原則として36m×18mとする。
 - (2) 使用球は、フットサル4号ボールとする。
 - (3) 競技者の数
 - ・競技者の数：5名
 - ・交代要員の数：15名以内
 - ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
 - (4) ベンチに入ることのできる人数は、19名以内(交代要員15名以内、役員4名以内)とする。

- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対3または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (6) ユニフォーム
- ① J F Aのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - ② フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - ③ チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - ④ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - ⑤ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - ⑥ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。
 - ⑦ ユニフォームへの広告表示については、J F Aの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - ⑧ その他、ユニフォームに関する事項についてはJ F Aのユニフォーム規程に則る。
- (7) 靴
キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない）。なお、チーム役員にも適用する。
- (8) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (9) キーパー用のサポーターの色
今大会では、特に制限しない。
- (10) 試合時間
- ① 1次ラウンドは20分間（前後半各10分間）、決勝ラウンドは30分間（前後半各15分間）のランニングタイムとする。
 - ② ハーフタイムのインターバルは、1次ラウンド3分間、決勝ラウンド5分間とする。（前半終了から後半開始前まで）
- (11) 試合の勝者を決定する方法（競技時間内で勝者が決しない場合）
- ① 1次ラウンドは引き分けとする。
 - ② 決勝トーナメント1回戦から準決勝において勝敗が決しない場合は、PK方式（1チーム5名による5本ずつのキックで行う。決しないときは、一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。）により勝敗を決定する。
 - ③ 決勝において勝敗が決しない場合は、6分間（前後半各3分間）のランニングタイムの延長戦を行い、決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- (12) タイムアウトは適用しない。

13 懲 罰

- (1) 本大会は、全道大会と懲罰規程上同一競技会とみなすため、本大会終了時点で未消化の出場停止処分は、全道大会の試合において順次消化する。ただし、警告の累積によるものは除く。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 前項により出場停止処分を受けたとき、1次ラウンド終了時点で警告の累積が1回するとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。

- (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合（ただし、第34回全道U-15フットサル選手権大会道東ブロック予選に出場するチームはこの大会で行うこと。）にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

- 14 参加料等 参加料10,000円（参加料6,000円+登録料4,000円）
※複数チーム参加の場合は、登録料のみチーム数分加算
- 15 参加申込
- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名、役員4名を上限とする。
 - (2) 参加申込書は、所定の申込書(Excel)に必要事項を記入し、期日までに申込先(A)、プログラム用メンバー表を(B)宛にE-mailで送付すること。
 - (3) 参加料10,000円は監督会議時に(C)へ納入すること。
 - (4) 申込期日 2022年10月7日(金) 17時00分必着
 - (5) 申込先 (A) 釧路市立鳥取西中学校(第3種委員長) 沼田 懇
(B) 釧路町立富原中学校(広報) 高橋 健太
(C) 釧路市立景雲中学校(会計) 黒沼 周平
- 16 組合せ 監督会議において抽選を行い決定する。
- 17 帯同審判
- (1) 参加チームは、4級以上の公認フットサル審判員を1チームにつき1名以上帯同させること。その氏名・級を参加申込書に記入すること。
 - (2) 帯同審判員は、2日目までその業務に当たるものとする。
 - (3) 帯同審判員は、役員と兼ねることはできる。
- 18 監督会議
- (1) 日時：2022年10月11日(火) 18時00分
 - (2) 会場：釧路市立鳥取西中学校 生物室
- 19 開会式 監督会議と兼ねる。
- 20 表彰及び閉会式
- (1) 優勝、準優勝及び第3位には表彰状を授与する。
 - (2) 閉会式は実施しない。
- 21 負傷及び事故の責任
- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
 - (2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
- 22 その他
- (1) マッチコーディネーションミーティング
 - ① 各試合競技開始時間の60分前(ただし、第1試合は試合開始30分前)に、大会本部で行う。
 - ② マッチコーディネーションミーティングは、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員出席のもと以下について行う。
 - (ア) 選手証の必要がある場合は提出を求めると、必ず持参すること。
 - (イ) FP及びGKそれぞれの正副2種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(メーカーは不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。
 - (ウ) タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行なう。
 - (2) メンバー提出用紙
メンバー提出用紙の提出は必要ない。プログラムに記載されているメンバー表を代用する。

- (3) 選手証
各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、JFA WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものであり、スマートフォンやPC等の画面に表示したものは原則として認めない。
- (4) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに電子メールにより釧路地区サッカー協会第3種委員長に理由及び代理出席者（参加申込書記載の役員から）氏名を届け出ること。また、不測の事態により当日急遽欠席する場合は、電話等で第3種委員長に連絡すること。
なお、監督が無断欠席の場合、そのチームは原則試合出場を認めないものとする。
- (5) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (6) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (7) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (8) 要項に記載のない事項については、釧路地区サッカー協会第3種委員会にて決定する。
- (9) 上位3チームには、2022年11月12日（土）～13日（日）に新得町総合体育館で開催される第34回全道U-15 フットサル選手権大会道東ブロック予選の参加を義務づける。ただし、上位3チームのいずれかのチームが、新型コロナウイルス感染症の影響を事由に出場を辞退した場合は、3位決定戦敗退チームが繰り上げて参加することができる。

2.3 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 大会実行委員会としても可能な限り感染予防対策を徹底した上で大会準備や大会運営に努めるが、参加者も大会期間中は各種ガイドラインに基づき、感染予防に努めること。
- (2) 本大会実施にあたっては、(公財)北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」最新版及び「新型コロナウイルス感染対策を踏まえたフットサル活動マニュアル」最新版を遵守し、関係者は健康チェックシートを都度会場運営責任者に提出すること。ガイドラインにおいて、健康チェックシート提出義務が不要となった際は、その通りとする。
- (3) チームや選手の出場停止等、新型コロナウイルス感染症の感染予防のために主催者が決めた処置については、主催者の指示に従い遵守すること。
- (4) 今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、国や北海道、管内市町村などから大会開催について指導、助言があった場合は、大会開催について改めて協議する。
- (5) 本大会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手、チーム役員、審判員、大会運営等関係者、引率保護者、観客など会場にいる全ての者は、感染対策責任者の判断、指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者ミーティングを実施する。
- (6) チーム関係者に新型コロナウイルス感染症の感染者が出た場合は、『JFAサッカー活動の再開に向けたガイドライン』最新版の「参加可能な健康状態について」を遵守することとし、原則としてチームへの出場自粛要請は行わない。ただし、チーム関係者に多数の感染者がいる場合などはその限りではない。
- (7) 本大会は、感染対策のため無観客で実施する。
- (8) 試合のライブ配信はしない。
- (9) 試合等を撮影した動画の、動画配信サイトやSNS等への無断掲載は厳禁とする。